

# 本年度補正予算や人事案件など 15案件を可決・承認・同意・報告

## 6月議会定例会



6月7日から14日までの日程で開催された6月議会定例会。  
15の案件が全会一致で原案通り可決・承認・同意・報告済みとされました。

令和3年第2回町議会定例会が、6月7日から14日までの日程で開催され、「町国民健康保険税条例の一部改正」の1案件を取り下げ、新型コロナウイルス感染症対策事業などに関する「令和3年度一般会計補正予算」や「監査委員の選任」など15の案件が、全会一致で原案通り可決・承認・同意・報告済みとされました。

今月号では、定例会初日に行われた渡邊町長の行政報告を抜粋して紹介します。

### 町長行政報告

#### 秋田ホーセ2工場が閉鎖 再就職の支援に努める

5月27日、町内の秋田ホーセ株式会社の本社工場と大川工場が閉鎖するとの発表がありました。

同社の親会社である株式会社エドウィンによりますと、近年、低価格の商品を扱うファストファッションの台頭によりエドウィン製品の販売に苦戦を強いられ、さらに、新型コロナウイルスの影響により販売が一層落ち込んでいるとのことでした。

そのため、エドウィン社では大規模な希望退職を募って人員整理を行い、国の助成金を活用しながら工場の維持に努めてきましたが、業績の改善が見込めず、秋田ホーセ社においても減産が続いていることから、苦渋の決断として、当町の秋田ホーセ本社工場と大川工場は7月20日で閉鎖し、大館市と小坂町にある同社工場も閉鎖するとの報告がありました。

従業員に対してはエドウィン社の社長から通達があり、希望退職者を募り、金銭面でのサポートを行うつつ、ハローワークと連携を取りながら再就職の支援を進めていくとのことでした。

町内では、7月20日に秋田ホーセ

社、10月末までにマーレエレクトリックドライブズジャパン秋田工場が閉鎖となり、多数の離職者が見込まれることから、6月1日に県知事に面会し、離職者の再就職と企業誘致の支援を要請し、県、ハローワークなどと連携しながら、従業員の再就職を最優先に支援を行い、希望される方の再就職が叶うよう努めています。

#### 樋口千代田区新区長と会談 姉妹提携交流を推進

3月22日、本年1月に行われた千代田区長選挙で初当選された樋口高顕区長とオンラインによる会談を実施しております。

樋口区長との会談では、コロナ禍において、対面での姉妹提携交流事業の実施が困難となっておりますが、新型コロナウイルスの収束を視野に入れ、今後も引き続き、交流を深めていくことを合意しています。

#### 広域デマンド型乗合タクシー 4月から本格運行を開始

南秋地域公共交通活性化協議会が昨年4月から実証運行を開始している、八郎瀧町と本町の森山地区と大川地区をひとつのエリアとする「広域デマンド型乗合タクシー」は、本年4月から本格運行を開始し、1日6便体制で順調に運行しています。

#### 五小旧校舎の物品譲渡に 178人が来場

本年度実施する五城目小学校旧校舎解体事業に伴う、旧校舎の物品譲渡を4月10日と11日に行い、178人のご来場がありました。譲渡の際には協力金をいただき、多くの皆さまの厚意に感謝申し上げますとともに、なお一層の学校教育充実のため活用させていただきます。

#### 前年度一般会計は 黒字決算の見込み

令和2年度一般会計の決算概要は、歳入総額84億5,503万円、歳出総額81億5,047万円、差引

また、4月12日から26日の期間、町内31か所の集会所で、公共交通に関する出張相談会を実施しました。相談会には148人の参加があり、42人の新規登録を受け付けています。

相談会では、乗合タクシーの料金や予約方法、各路線の利用状況などを説明し、参加された皆さまから町公共交通に関するご意見・ご要望をいただいています。いただいたご意見・ご要望は、本年度、町地域公共交通協議会で策定する「町地域公共交通計画」に反映させ、利用者に寄り添った、将来にわたって持続可能な地域公共交通の形成を目指していきます。



本年3月以降に生じた町政の動きなどを説明する渡邊町長

#### 地元猟友会と連携し クマ被害の防止に努める

5月末時点で、町内でのツキノワグマの目撃情報は5件あり、うち1件は箱わなに入ったクマとなっております。

昨年比で雪解けが早く、目撃情報も若干早くなっております。また、昨年は冬眠前のクマのエサが豊富だったことから、例年に比べ親子グマが多くなると予想されます。今後も地元猟友会の協力を得ながら、人身被害の防止に万全を期していきます。

## 6月議会定例会で 可決・同意された主な議案

### ◆令和3年度一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種の集団接種会場や送迎体制の整備などに2,855万円、火葬場整備事業の工事費の増加に伴い2,140万円、久保町内自主防災会、館越自主防災会、雀館自主防災会、中村自主防災会へのコミュニティ助成事業補助金として720万円など、合わせて1億561万円の増額補正。補正後の累計額は59億5,575万円です。

### ◆監査委員の選任への同意

5月31日付で退任した、町代表監査委員の本間信義さん（71歳・帝釈寺）に代わり、新たに小玉睦男さん（67歳・西野）を選任しました。

残額3億456万円で、繰越明許費のうち一般財源の111万円を差し引くと、実収支額は、3億345万円の見込みです。

主な特別会計の決算概要では、国民健康保険特別会計の決算剰余金が2,051万円、介護保険特別会計（保険事業勘定）の決算剰余金が7,616万円の見込みです。

また、令和2年度下水道事業特別会計は、本年4月1日から地方公営企業法適用の会計基準に移行したことに伴い、本年3月31日で打切決算とし、打切決算により生じた剰余金893万円は、法適用後の令和3年度下水道事業会計に引き継いでいきます。